

交流拠点に関する疑問にお答えします 交流拠点 Q&A



問 施設周辺だけでなく、三好市全体の交流拠点についてどう思いますか？

答 三好市内全域の地域や学校、生涯学習施設、体育施設、福祉施設、観光施設などと様々な機能を連携し、市民同士や市を訪れた人との交流の機会を提供するなど、文化芸術活動を核とした交流活動の広がりをつくる「交流連携事業」に取り組みます。

問 徳島市のアニメの祭典「マチ☆アソビ」のような、三好市独自の文化が生まれないかな？

答 既存の文化芸術活動を保護、育成する一方、三好市においてこれまで活動実績のない分野（演劇、映画制作、メ

問 活発な交流活動には人づくりが重要な鍵をにぎっているように思うのですが、アーティストやスタッフ、ボランティアの育成を目的とした講座やワークショップ等を実施しながら交流拠点と地域をつなぐ地域ファシリテーター育成プログラムを構築し「育成事業」に取り組めますか？

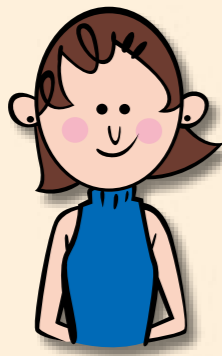
答 アーティストやスタッフ、ボランティアの育成を目的とした講座やワークショップ等を実施しながら交流拠点と地域をつなぐ地域ファシリテーター育成プログラムを構築し「育成事業」に取り組めます。

問 音楽、美術、演劇、映画などいろいろな芸術を楽しむことができるのか？

答 あらゆる分野における質の高い公演や展示会を開催するなど、優れた文化芸術作品の鑑賞の機会を提供します。それに合わせて、芸術家本人や関係者と協働した講演会、トークショー、ワークショップの開催や県立近代美術館との連携による移動美術館など多彩な「鑑賞事業」を行います。

問 バンドや阿波踊りの練習や発表とか思いっきりできる場所はあるのか？

答 市民の文化芸術活動や交流活動のために、幅広く施設の各諸室を提供します。見



問 文化芸術って私には縁がないし、難しいことかな？ そんなことはありませんか？

答 文化芸術って私には縁がないし、難しいことかな？ そんなことはありません。気軽に立ち寄ることのできるロビーを活用したコンサートや展示会を開催したり、親子で音楽や演劇を楽しめる親子芸術鑑賞会や小中学校や福祉施設を訪問しての演奏会や出前事業など、幅広い年齢層に向けた気軽に親しめる事業、文化芸術を体験実習できる各種教室の開設などを実施し文化芸術の「普及事業」に努めます。

問 三好市の活動を全国に発信するのに、インターネットが有効なのは、インターネットによる専用ウェブページを開設し自主事業や市内イベント情報を幅広く収集発信したり、情報検索コーナーの設置、相談窓口の提供、メディアへの情報提供および広告宣伝活動、機関紙・フリーペーパーの発行など「情報提供事業」に取り組めますか？

答 そうですね。インターネットによる専用ウェブページを開設し自主事業や市内イベント情報を幅広く収集発信したり、情報検索コーナーの設置、相談窓口の提供、メディアへの情報提供および広告宣伝活動、機関紙・フリーペーパーの発行など「情報提供事業」に取り組めます。

問 児童生徒や文化芸術団体など市民の文化芸術作品の発表、練習の場としてのホールや諸室の利用、三好市の地理的特性を生かした各種会議や催事（イベント）の誘致など、多目的な利用に対応した「施設提供事業」を行いますか？



交流拠点施設整備実施計画検討委員会 市民部会を開催中

検討委員会設置後、これまで3回の市民部会が開催され、「活動事業のあり方」「管理運営・組織」「施設計画」といった実施計画に盛り込む内容について活発な討議が行われています。主な意見をご紹介します。

活動事業のあり方について

- ◎目指すべき7つの事業が実際に可能かどうか検討すること
- ◎いかに維持管理費を抑えるかも意識しながら計画を立てて
- ◎どのようにすれば人が集まり使えるものになるか
- ◎三好市に行けば必ず体験できる事業を
- ◎育成・普及事業は今から準備
- ◎施設の周辺を含め宿泊、交通網を整備し回遊性を持たせた計画を
- ◎自主的にチケットを買って鑑賞したいと思える事業を
- ◎ハード・ソフト両面から整備

利用料金の考え方

- ◎基本的に受益者負担の考え方で、減免措置なども検討
- ◎「使う」から「使わせてもらう」市民の意識変換
- ◎多くの人に利用してもらえるように安価な料金で
- ◎「文化基金」「友の会」「オフィシャルスポンサー」を検討

管理運営・組織について

- ◎民間的な発想で活発な運営が必要
- ◎指定管理、直営に関わらず有機的な運営をすること
- ◎優秀なスタッフと柔軟な組織体制が望まれる
- ◎5～10年スパンで中長期計画が必要

施設計画について

- 【ホール機能】**
 - ◎基本計画通り客席数は600席が妥当
 - ◎客席数は1000席はほしい
 - ◎客席はゆとりのあるものを
 - ◎固定式にこだわらず、可動式の客席も検討してみたら
 - ◎客席はゆったり、車椅子でも不自由なく利用できるように（ユニバーサルデザイン）
 - ◎舞台は土足でも使えるように
- 【練習機能】**
 - ◎小ホールは、リハーサル、会議、小規模興行、展示室など多目的に使えるように
- 【展示機能】**
 - ◎展示パネルは可動式でしっかりしたものを
- 【交流機能】**
 - ◎開館中いつでも食事ができる場所はぜひ必要
- 【その他の機能】**
 - ◎施設に見合った駐車場スペースの確保を
 - ◎南北2か所の出入口が必要
 - ◎社会的施設との複合も視野に入れて考えてみては

その他

- ◎地盤調査を、しっかりとすること
- ◎子ども達に身近な所で文化を感じてもらいたい
- ◎文化に限らず様々な活動において交流できる施設に
- ◎この施設を中心に交流活動を活発にさせるにはどうしたらいいか、まちづくりをどうしていくか、三好市のあり方を考えるうえでいいきっかけとなる

交流拠点施設が、様々な交流活動を通して身近に文化に触れ親しみ、誰もが気軽にくつろぎ憩える場所となるよう引き続き検討が重ねられます。

お問い合わせ先
三好市企画調整課文化交流推進室
(電話 72-7633)